

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 アルファグループ株式会社

コード番号 3322 URL <http://www.alpha-grp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉岡 伸一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 西原 哲司

TEL 03-5469-7300

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	12,684	16.5	118	△52.4	112	△54.9	30	△80.4
25年3月期第2四半期	10,884	3.1	248	41.5	249	39.3	154	66.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 29百万円 (△80.8%) 25年3月期第2四半期 155百万円 (69.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	1,021.38	1,020.55
25年3月期第2四半期	5,219.23	5,215.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	7,954	2,903	36.5	98,092.36
25年3月期	5,490	2,916	53.1	98,680.33

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,903百万円 25年3月期 2,916百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	1,500.00	1,500.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年5月15日開催の当社取締役会において、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割することを決議しております。平成26年3月期(予想)の期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮しております。

株式分割を考慮しない場合の平成26年3月期の連結業績予想の期末1株当たり配当金は1,500円となります。

詳細は、次ページ「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	10.2	330	△25.0	300	△32.1	148	△44.8	50.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成25年5月15日開催の当社取締役会において、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割することを決議しております。平成26年3月期の1株当たり当期純利益については、当該株式分割調整後の内容を記載しております。

詳細は、次ページ「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	31,024 株	25年3月期	30,976 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,425 株	25年3月期	1,425 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	29,553 株	25年3月期2Q	29,547 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(株式分割後の業績予想及び配当について)

当社は、平成25年5月15日開催の取締役会において、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割することを決議しております。

これに伴い、株式分割考慮前に換算した平成26年3月期の連結業績予想及び配当予想は以下のとおりであります。

- 平成26年3月期の連結業績予想
 1株当たり当期純利益(株式分割考慮前)
 通期 5,007円95銭
- 平成26年3月期配当予想
 通期 1,500円00銭

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 全般的概況

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）における我が国の経済は、新政権によるデフレ脱却に向けた様々な経済・金融政策等の効果により、緩やかながらも景気の回復の兆しが見られ、さらに2020年オリンピックの東京招致も決まり、景気高揚への期待感が高まってきております。一方で、欧州の財政不安の長期化や新興国経済の成長鈍化などによる海外景気の下振れが我が国の景気を下押しする懸念が残っております。

このような経済情勢の中、当社グループは、モバイル事業、オフィスサプライ事業、IT事業の既存事業においては販路拡大に努めつつ、新規事業の立ち上げを行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高126億84百万円（前年同四半期比16.5%増）、営業利益1億18百万円（前年同四半期比52.4%減）、経常利益1億12百万円（前年同四半期比54.9%減）となり、四半期純利益30百万円（前年同四半期比80.4%減）となりました。

② セグメント情報

< モバイル事業 >

社団法人電気通信事業者協会推計による当第2四半期連結累計期間における携帯電話加入契約数は、平成25年9月末で1億3,892万件と、平成25年3月末より約315万件増加しました。キャリア別純増数では、平成25年3月末よりNTTドコモ約23万件（純増シェア7.4%）、au約133万件（純増シェア42.3%）、ソフトバンク約158万件（純増シェア50.2%）となりました。

そのような中、当社はスマートフォンの普及に伴い加速するお客様の獲得に向けた競争を見据え、引き続き好立地への出店を急ぐとともに、不採算店舗の撤退を推進してまいりました。今後も、戦略的にスクラップアンドビルドを行うことにより、採算性の確保に取り組んでまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は93億56百万円（前年同四半期比24.3%増）、営業利益74百万円（前年同四半期比50.7%減）となりました。

< オフィスサプライ事業 >

国内ステーショナリー市場および通販市場は、景気回復の兆しを受け、拡大が見込める有望市場であるものの、異業種からの新規参入が相次ぎ、価格・提供サービス面での競争が激しさを増しております。

そのような中、前年に引き続き販売管理費の圧縮を進めつつ、「カウネット」の新規顧客の獲得に注力してまいりました。当社保有のコールセンターと、Webによる新たな獲得手法をバランスよく組み合わせることで採算性と効率性の両軸を追求するとともに、既存顧客の継続利用の促進に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は31億9百万円（前年同四半期比0.2%増）、営業利益51百万円（前年同四半期比37.8%減）となりました。

< IT事業 >

IT事業におきましては、検索エンジンのアルゴリズムの変動など市場を取り巻く環境の変化を受け、前年より事業戦略の転換を進めてまいりました。SEO事業からウェブマーケティング全般へ、サービス領域の拡大を推し進め、リスティング（PPC広告）やサイト制作による新規顧客の開拓・獲得に注力いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は72百万円（前年同四半期比13.0%増）、営業利益19百万円（前年同四半期比92.3%増）となりました。

< 水宅配事業 >

水宅配事業におきましては、水源となる地域での地震発生等の可能性を鑑み、前年8月より新規顧客の獲得を取りやめております。そのため本事業においては、既存のお客様がウォーターパックをご購入いただくことにより、継続収益が得られるビジネスモデルとなっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1億66百万円（前年同四半期比14.3%減）、営業利益43百万円（前年同四半期比816.8%増）となりました。

< 福祉事業 >

新たに福祉分野への事業参入を決定し、平成24年7月に子会社である「アルファディスカール(株)」において事業の準備を開始しております。当第2四半期累計期間におきましては、教育を通じた社会問題の解決と将来の介護業界を支える人材の輩出を目指し、介護職員初任者・実務者研修の運営を行っております。同時に、障がいを持つ学生に向けた放課後の塾（放課後等デイサービス）の立ち上げに注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6百万円（前年同四半期は発生なし）、営業損失40百万円（前年同四半期は発生なし）となりました。

<再生可能エネルギー事業>

平成24年7月1日より開始された「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」を受け、当社は再生可能エネルギー事業への参入をしております。平成25年4月、新たに子会社として「アルファチャーラー(株)」を設立し、当第2四半期累計期間におきましては発電施設の建設用地確保および転売スキームの確立に注力し、売電および転売に向けた準備を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1百万円（前年同四半期は発生なし）、営業損失29百万円（前年同四半期は発生なし）となりました。

<その他事業>

その他事業におきましては、当社保有のコールセンターを活用したテレマーケティングの受託業務および新たな事業を立ち上げる為に、テストマーケティングを進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1百万円（前年同四半期比57.1%減）、営業損失0百万円（前年同四半期は営業損失0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は79億54百万円で、前連結会計年度末に比べ24億63百万円の増加となりました。主な増加は現金及び預金の増加12億42百万円、前渡金の増加9億41百万円、有形固定資産の増加3億12百万円、商品及び製品の増加1億19百万円等であります。

負債は50億50百万円で、前連結会計年度末に比べ24億76百万円の増加となりました。主な増加は、長期借入金の増加13億51百万円、短期借入金の増加2億90百万円、買掛金の増加1億75百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加1億23百万円等であります。

純資産は29億3百万円で、前連結会計年度末に比べ12百万円の減少となりました。主な増加は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加30百万円であり、主な減少は配当金の支払44百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年8月6日に公表をいたしました平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）を修正しております。

詳細については、本日公表の「平成26年3月期第2四半期累計期間における実績値と業績予想との差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,460,525	2,702,580
受取手形及び売掛金	1,328,207	1,092,458
商品及び製品	784,757	904,483
前渡金	22,263	964,099
その他	518,831	593,810
貸倒引当金	△7,200	△6,980
流動資産合計	4,107,384	6,250,452
固定資産		
有形固定資産	119,520	431,543
無形固定資産		
のれん	324,922	257,176
その他	30,972	82,939
無形固定資産合計	355,894	340,115
投資その他の資産		
差入保証金	681,227	676,760
その他	265,911	293,505
貸倒引当金	△39,024	△38,076
投資その他の資産合計	908,113	932,188
固定資産合計	1,383,528	1,703,847
資産合計	5,490,913	7,954,299
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,267,260	1,442,500
短期借入金	500,000	790,000
1年内返済予定の長期借入金	157,332	280,802
未払法人税等	84,373	79,376
その他	386,441	922,618
流動負債合計	2,395,406	3,515,298
固定負債		
長期借入金	105,566	1,456,876
その他	73,838	78,689
固定負債合計	179,404	1,535,565
負債合計	2,574,811	5,050,863

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	527,828	528,728
資本剰余金	487,430	488,330
利益剰余金	2,148,425	2,134,283
自己株式	△250,763	△250,763
株主資本合計	2,912,919	2,900,578
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,182	2,857
その他の包括利益累計額合計	3,182	2,857
純資産合計	2,916,102	2,903,435
負債純資産合計	5,490,913	7,954,299

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	10,884,843	12,684,668
売上原価	9,531,408	11,448,760
売上総利益	1,353,435	1,235,908
販売費及び一般管理費	1,104,972	1,117,681
営業利益	248,462	118,226
営業外収益		
受取利息	1,858	1,742
受取手数料	2,456	2,800
その他	1,590	1,504
営業外収益合計	5,905	6,047
営業外費用		
支払利息	5,111	11,123
その他	120	722
営業外費用合計	5,231	11,846
経常利益	249,136	112,427
特別利益		
受取和解金	14,422	10,200
その他	771	—
特別利益合計	15,194	10,200
特別損失		
固定資産売却損	3,831	—
固定資産除却損	7,425	4,176
特別損失合計	11,256	4,176
税金等調整前四半期純利益	253,074	118,450
法人税、住民税及び事業税	104,778	78,136
法人税等調整額	△5,917	10,128
法人税等合計	98,861	88,265
少数株主損益調整前四半期純利益	154,212	30,184
四半期純利益	154,212	30,184

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	154,212	30,184
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,616	△325
その他の包括利益合計	1,616	△325
四半期包括利益	155,829	29,859
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	155,829	29,859

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	253,074	118,450
減価償却費	38,939	29,832
のれん償却額	67,795	61,455
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,460	△1,168
受取利息及び受取配当金	△1,858	△1,742
支払利息	5,111	11,123
固定資産売却損益(△は益)	3,831	—
固定資産除却損	7,425	4,176
和解金	△14,422	△10,200
売上債権の増減額(△は増加)	542,765	235,748
たな卸資産の増減額(△は増加)	185,240	△119,760
前渡金の増減額(△は増加)	△25,889	△941,836
仕入債務の増減額(△は減少)	△498,836	175,240
未払金の増減額(△は減少)	△93,247	18,140
前受金の増減額(△は減少)	4,536	512,893
その他	36,887	△128,968
小計	507,889	△36,614
利息及び配当金の受取額	1,028	1,077
利息の支払額	△5,061	△11,199
保険金の受取額	7,626	—
和解金の受取額	3,019	1,898
法人税等の支払額	△76,523	△88,999
法人税等の還付額	3,813	6,063
営業活動によるキャッシュ・フロー	441,792	△127,774
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21,996	△385,399
有形固定資産の売却による収入	4,378	4,098
無形固定資産の取得による支出	△16,445	—
事業譲受による支出	—	△24,358
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	1,366	360
貸付けによる支出	△20,000	—
差入保証金の差入による支出	△2,283	△6,850
差入保証金の回収による収入	7,297	23,104
その他	1,147	38,362
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,535	△350,683

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	290,000
長期借入れによる収入	—	1,577,000
長期借入金の返済による支出	△75,889	△102,220
株式の発行による収入	—	1,800
配当金の支払額	△43,878	△44,442
リース債務の返済による支出	△2,057	△1,624
財務活動によるキャッシュ・フロー	△121,824	1,720,513
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	273,432	1,242,055
現金及び現金同等物の期首残高	1,191,930	1,460,525
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,465,363	2,702,580

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	モバイル 事業 (千円)	オフィス サプライ 事業 (千円)	I T 事業 (千円)	水宅配 事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
外部顧客への 売上高	7,526,845	3,100,343	58,620	194,407	4,626	10,884,843	—	10,884,843
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	288	1,795	5,245	—	—	7,328	(7,328)	—
計	7,527,133	3,102,138	63,865	194,407	4,626	10,892,172	(7,328)	10,884,843
セグメント利益 又は損失(△)	150,200	83,536	9,957	4,791	△23	248,462	—	248,462

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント								調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	モバイル 事業 (千円)	オフィス サプライ 事業 (千円)	I T 事業 (千円)	水宅配 事業 (千円)	福祉事業 (千円)	再生可能 エネルギー 事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高										
外部顧客への 売上高	9,356,975	3,108,084	43,229	166,531	6,261	1,600	1,986	12,684,668	—	12,684,668
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	1,536	28,950	—	—	—	—	30,486	(30,486)	—
計	9,356,975	3,109,621	72,179	166,531	6,261	1,600	1,986	12,715,155	(30,486)	12,684,668
セグメント 利益 又は損失 (△)	74,087	51,995	19,153	43,928	△40,836	△29,199	△903	118,226	—	118,226

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、アルファチャーラー(株)を新たに設立し、連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「再生可能エネルギー事業」において2,472,286千円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来、「モバイル事業」、「オフィスサプライ事業」、「IT事業」、「水宅配事業」、「その他事業」の5つを報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結累計期間より、「モバイル事業」、「オフィスサプライ事業」、「IT事業」、「水宅配事業」、「福祉事業」、「再生可能エネルギー事業」、「その他事業」の7つの報告セグメントに変更しております。

この変更は、「福祉事業」について、同事業セグメントの量的な重要性が増したことから、第1四半期連結累計期間より、「福祉事業」を新たな報告セグメントとしたことによるものであります。

また、「再生可能エネルギー事業」について、アルファチャーラー(株)を新たに設立し、連結の範囲に含めており、同事業セグメントの量的な重要性が増したことから、第1四半期連結累計期間より、「再生可能エネルギー事業」を新たな報告セグメントとしたことによるものであります。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、「福祉事業」、「再生可能エネルギー事業」について該当事項はありません。